

# 社会連携と地域貢献



平井松午 (地域創生コース / 歴史地理学)



「地域社会への貢献」  
教育・研究に次ぐ  
大学の第3の使命

## 徳島大学の理念・目標

<http://www.tokushima-u.ac.jp/about/mission/>

### < 理念 >

国立大学法人徳島大学は、自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し向上させ、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献する。

### < 目標 >

#### 【教育】

1. 学生が志をもって学び、感じ、考え、生涯にわたって学び続ける知と実践にわたる体系的な教育を行う。
2. 自律して人類の諸問題の解決に立ち向かう、進取の気風を身につけた人材の育成を行う。

#### 【研究】

1. 自由な発想により真理を探究する研究を行う。
2. 人類の問題を解決する研究を行う。
3. 研究成果を社会に迅速に還元し、国際及び地域社会の平和な発展に貢献する。

#### 【社会貢献】

1. 地域社会と世界を結ぶ知的なネットワークの拠点となり、平和で文化的な国際社会と活力ある地域社会を構築する。
2. 産官学の組織と連携し、社会の発展基盤を支える拠点となり、大学の開放と社会人の学び直しを支援し、地域社会に新産業を創出することに貢献する。

## キャリアプラン入門 第3回 「巣立ちプログラム」(平井)

### 【学生コメント】

大学受験の時に、「**大学は学問をする場所であり、職業につくために利用する場所ではない。**職業につく技術を学ぶのは専門学校だ」と高校の先生に言われました。

私自身、大学四年間を使ってできる限り勉強したいと考えています。就職活動のために勉強する時間が割かれるのは、そういう時代なので仕方がないですが、勉強そっこのけで就職活動をしなければ職につけないというのがなんとなく腑に落ちないと感じました。

大学教育 「リベラルアーツ」(教養教育)  
「学術研究」(専門教育)  
「職業教育」(キャリア教育)

## 「総合科学」という 専門分野(学問)はない

複雑化する諸現象や社会の課題を解明するために求められる研究手法「総合科学」

- システムアプローチ (総合性の重視)
- 学際的研究 (関係性の重視)
- 学融合研究 (超越性の重視)

「総合科学の基礎」で多様な視点を培う

自然現象の究明  
科学技術の推進

### 人文科学

哲学 倫理学  
宗教学 美学  
文学 語学  
歴史学 考古学  
文化人類学  
心理学 スポーツ科学  
Etc.

人間本性の究明  
人間文化の創造

### 総合科学部での 主な取組テーマ

- グローバル化
- 少子高齢化
- 健康社会づくり
- 地域活性化  
etc.

### 総合科学

- グローバル学
- 人間科学
- 公共政策学
- 地域科学
- 情報科学  
Etc.

社会現象の究明  
社会経済の向上

### 社会科学

政治学 法律学  
経済学 経営学  
社会学 社会思想  
社会人類学  
経済地理学  
Etc.

赤字は総合科学部で学べる専門分野

### 自然科学

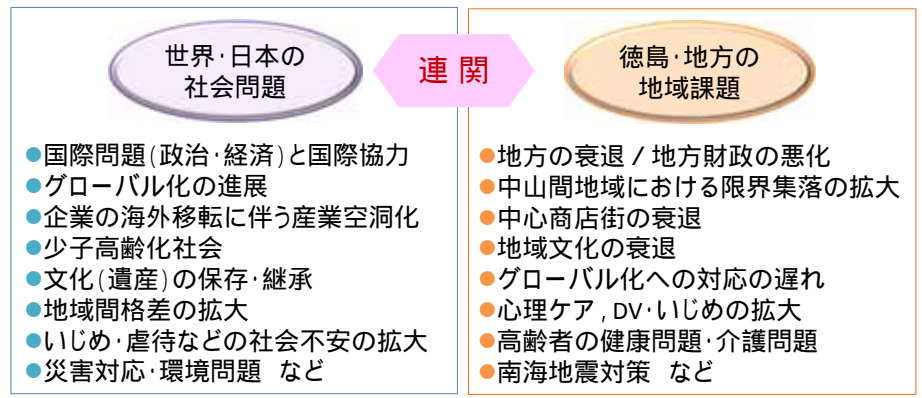
数学 物理学  
化学 地球科学  
天文学 生物学  
農学 健康科学  
医学 歯学  
薬学 工学  
Etc.

# 人口問題に関わる諸課題（例示）

- 人口爆発と人口政策
- 経済格差
- 飢餓・食糧問題
- 医療・福祉問題
- 環境問題
- 移民・難民問題
- 少子高齢化社会
- 家族・生活スタイルの変化
- 高齢者の健康・介護問題
- 社会保障・年金問題
- 少子化に伴う経済活動の縮小化
- 少子化に伴う教育制度・学校問題
- 大都市一極集中
- 地域経済の縮小化
- 雇用や消費への影響
- 地方の過疎化や「限界集落」の拡大
- 「消滅可能性都市」の出現
- 文化の保存・継承問題
- 治安・災害時などの社会不安 など



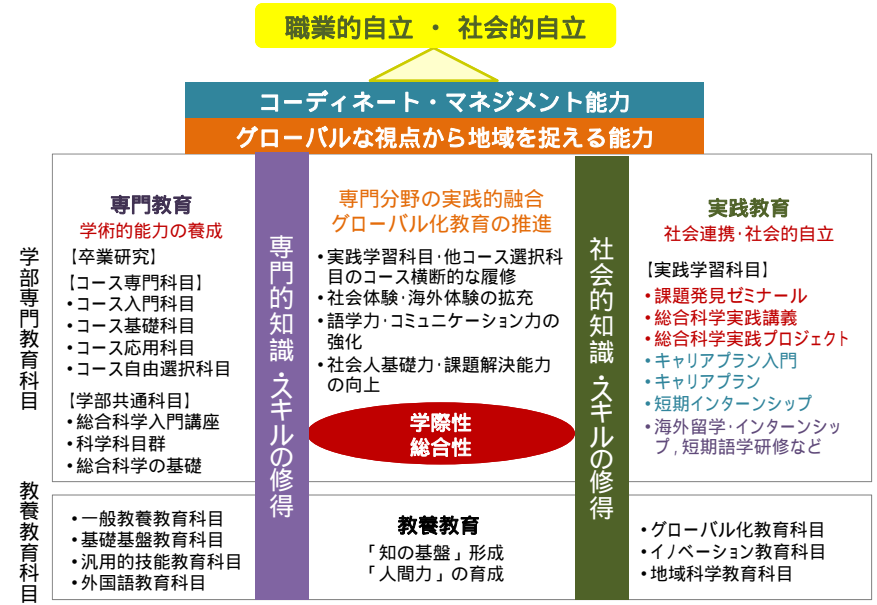
# 総合科学部が取り組む社会的課題（例示）



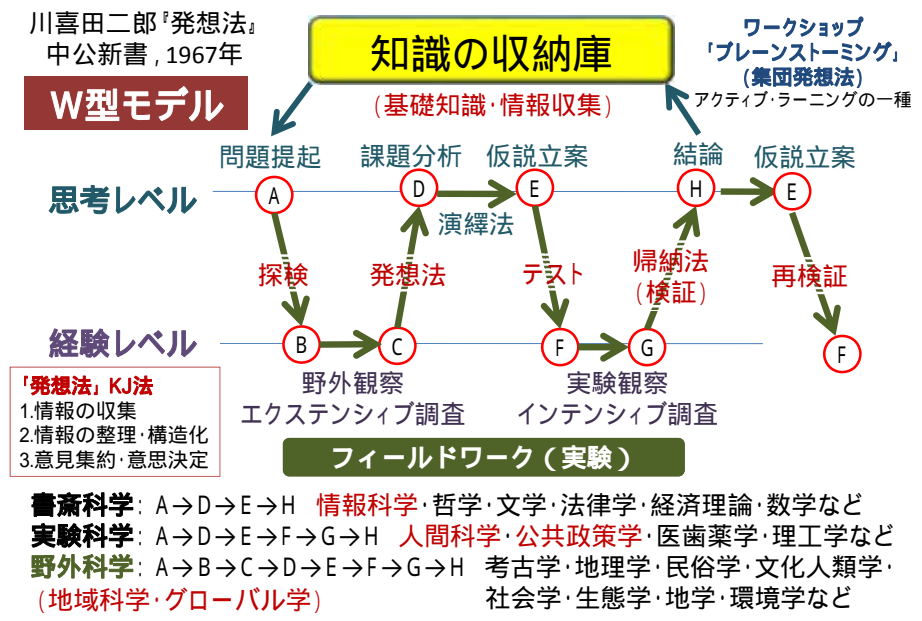
## Global / Local (Glocal) な視点と問題関心



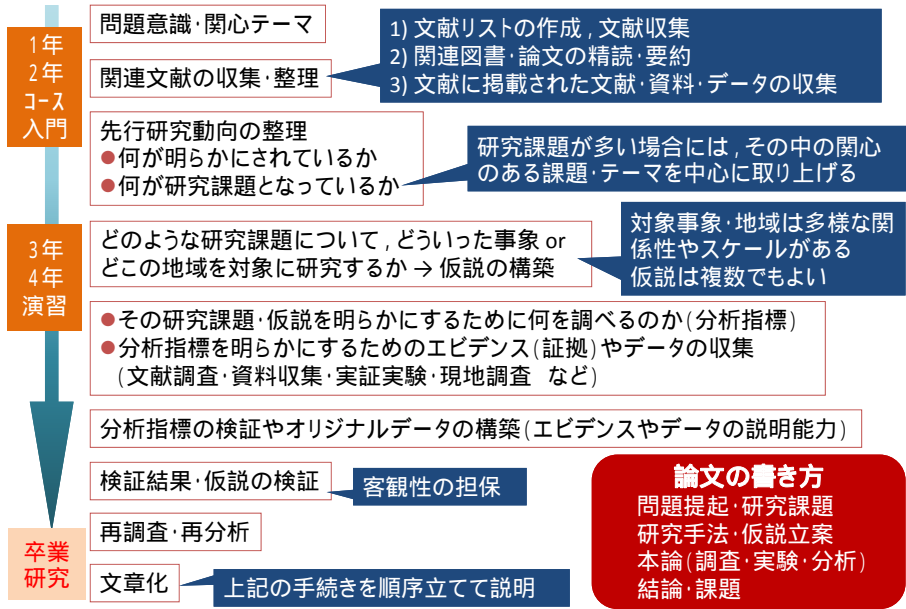
# (パイ)字型教育プログラム



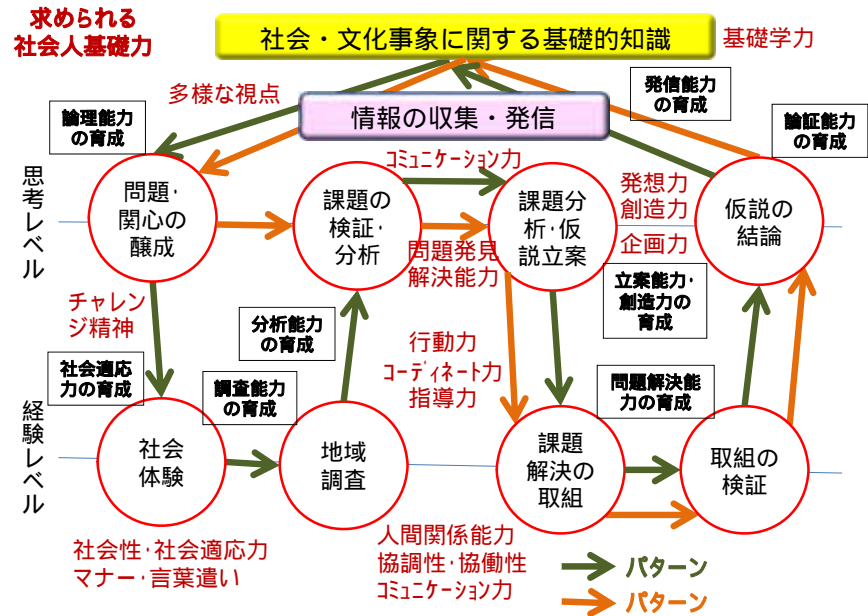
# 発想法 問題解決のための研究スタイル



# 研究の手続き / 論文の書き方



# 総合科学部の履修モデル W型モデル



# 1年後期 「課題発見ゼミナール」

## 【授業の目的】 「学び」のための基礎力修得

- 特定の課題・テーマを例に、問題意識・課題発見能力を醸成
- 学術的な研究手法や分析手法の基礎的理解
- 論理的思考力、プレゼンテーション能力などの向上

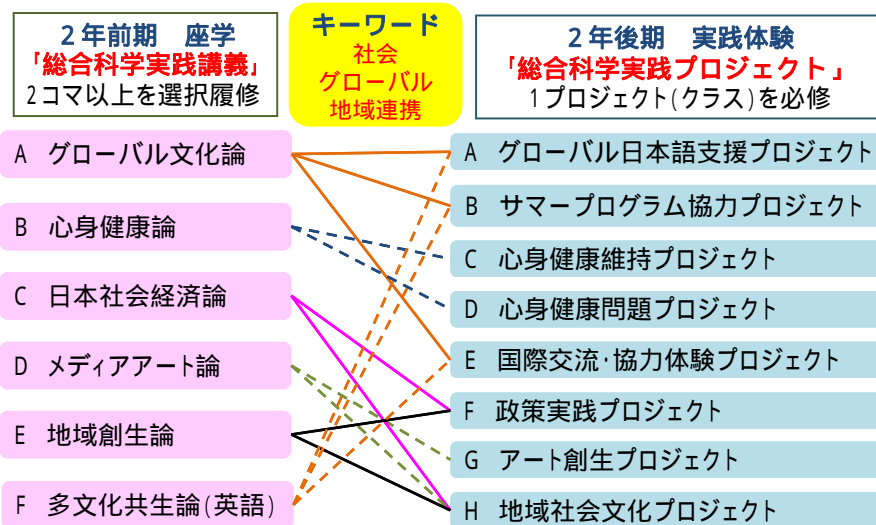
## シラバス(Web)に掲載されている取組課題・テーマ

- 徳島新発見(葭森健介)
- 障がいについて考える(山口裕之) **合同**
- 障がいについて考える(熊坂元大) **合同**
- 心理学に関する社会的課題(佐藤健二)
- 障がいについて考える(佐藤 裕) **合同**
- 健康づくり・競技力向上(三浦 哉)
- 統計的データの解釈確率論(眞弓浩三)
- 基本的人権に関する裁判例(上原克之)
- 社会科学の思考法や方法論(趙 彤)
- 地域の未来設計・社会イノベーション(吉田敦也)
- モノ・コト・ヒトの歴史(衣川 仁)
- 地域社会とフィールドワーク(内藤直樹)

12クラス編成  
1クラス  
平均14.2人

6月9日(水) 予定  
ガイダンス説明会  
クラス分け

# 「総合科学実践講義・実践科学プロジェクト」の履修



所属コースを  
超えて履修可能

- 前期に受講した「総合科学実践講義」と関連性のある「総合科学実践プロジェクト」A～Hのうちから1つを選択履修する。
- 他に海外体験を目的とする「総合科学実践プロジェクト」を開講。

## コース専門科目などで取り組む社会実践（例示）



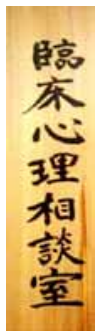
健康運動指導



傾斜地農業体験



戦跡地見学



一般の方も受け入れている



地域調査でのヒアリング



LEDアートと社会連携

## 総合科学部教員が取り組む社会連携（例示）

- 若者自立支援における認知行動療法の普及・定着事業
- 運動を通じた地域高齢者の健康支援に関する研究
- 子どもの体力向上に関する支援環境デザイン
- 公益社団法人日本プロサッカーリーグが主催する公式試合のスタジアム観戦者に関する調査研究
- 平成の大合併が市町村の財政構造に及ぼした効果の分析
- にし阿波多様性農業システム発展観光コンテンツ化事業
- 美波町奥川地区空き家調査事業
- 海陽町鞆浦地区建物悉皆調査
- 鳴門市総合計画後期基本計画アンケート調査の分析事業
- 世界糖尿病デー記念イベント及び徳島市民病院クリスマスイルミネーション計画のためのLED作品の制作及び設置

これらの社会連携も、教育・研究活動の一環として行われる

こうした活動に積極的に関わることで得られた社会体験は、皆さんのキャリア形成・社会人基礎力向上につながる（海外体験・海外留学・海外フィールドワークなど）

## 上勝町における棚田保全活動



いそどりの達人  
横石知二氏



### 檜原の棚田

文化財「重要文化的景観」  
(棚田景観)

平成22年2月22日文化庁選定

「重要文化的景観」

平成17年度から新たな文化財

全国で15地区目  
四国では3地区目の選定  
棚田では4地区目の選定

## 檜原棚田 「重要文化的景観」選定理由

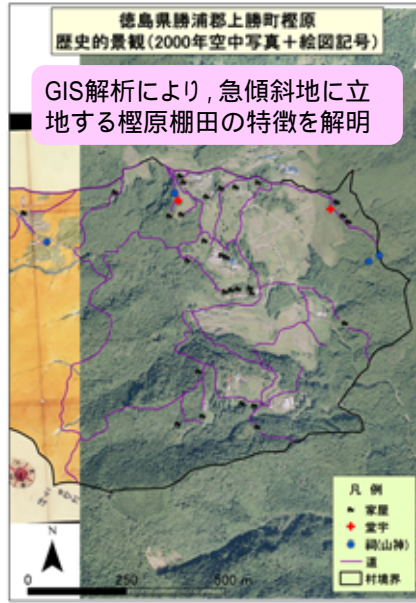
### 3 檜原の棚田【徳島県勝浦郡上勝町】

四国の勝浦川上流部は急峻な地形の合間に棚田と農家が散在する地域で、その中の檜原地区には、深い山林に覆われた里山を背景として、檜原谷川へと連続する標高500～700mの急傾斜面上に3つの棚田と居住地が展開する。閉じられた山間の地すべり地形を示す窪地状の地形に、一群の棚田と農家がまとまって展開する農耕と居住の在り方はこの地域の典型的・代表的な土地利用形態を示し、良好な文化的景観を形成している。

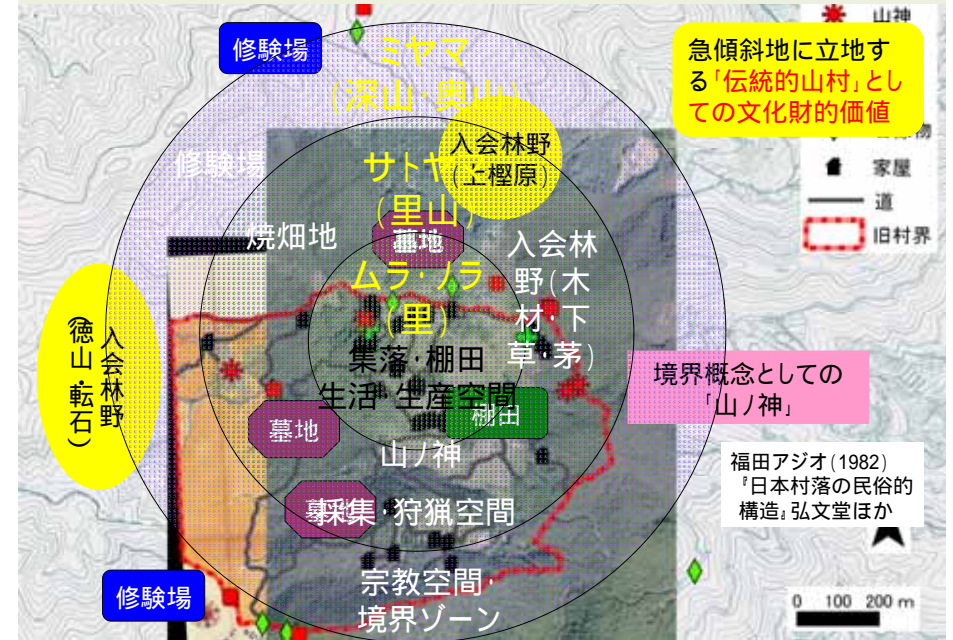
檜原の棚田を中心とする土地利用形態の最大の特質は、文化10年(1813)11月の紀年銘のある「勝浦郡檜原村分間絵図」に描かれた水田の位置・形態、家屋・道・堂宇・小祠の位置などとの詳細な照合が可能なことである。精度高く描かれた詳細な内容と現況との比較により、200年以上もの間、土地利用形態がほとんど変化していないことがわかる。

棚田への水利系統は、檜原谷川から等高線に沿って引かれた14本の用水により精巧に張り巡らされている。檜原の棚田は、全体の面積が大きいのに対し、水田1枚当たりの平均面積が180㎡と小さく、平均勾配は約4分の1と急勾配であり、立地する標高も町内の他事例に比較して最も高いなど、この地域における棚田の中でも特質が見られる。

## 檜原地区における歴史的景観



## 檜原地区の文化的景観 (概要)



## 社会連携

まとめ役  
コーディネーター  
地域人材

地域住民(自助)  
「棚田を守りたい」(過疎・高齢化)  
全国棚田サミットへの自主参加  
「檜原棚田村」の結成



自治体(公助)  
県・町・教育委員会  
(社会教育)

「協働」の組織化  
棚田保全  
地域活力

NPO等の団体(共助)  
NPO郷の元気

交渉  
申請

大学等の専門家(共助)  
社会貢献  
教育研究活動



文化庁  
「重要文化的景観」

地域資源の活用  
ブランド力の向上  
地域活性化



棚田オーナー制

パンフレット作成・学生実習

## 平井「社会連携と地域貢献」 宿題

- 1) 自分が最も関心を抱いている社会的な課題 もしくは 地域課題と、その理由・根拠を説明してください。
  - 2) そうした課題を究明・解決するためには、どのような研究分野 あるいは どういった研究アプローチが有効だと考えられますか。その理由・根拠も説明してください。
  - 3) 授業に対する意見・質問があれば、書いてください。
- 回答はmanabaに800~1200字程度で書いてください。  
<宿題3>はオプションなので字数には含めない>

5月29日(月) 提出締切